

仕 様 書

1 購入希望機種

コニカミノルタ 超音波画像診断装置 SONIMAGE HS1 2セット

2 構成内容

- (1) 超音波画像診断装置 SONIMAGE HS1 5th
- (2) HS1 ポールカート
- (3) HS1 電源拡張ユニット (国内用)
- (4) HS1 3ポート拡張ユニット
- (5) HS1 キーボードキット
- (6) HS1 リニアプローブ L18-4
- (7) HS1 コンベックスプローブ C5-2
- (8) HS1 ストレインエラストグラフィーライセンス
- (9) HS1 5th HS1 パッケージライセンス
- (10) 三菱デジタルグラフィクスプリンタ P95D
- (11) HS1用 縦収納型キャリーケース
- (12) HS1/MX1用3年サポートバック

3 仕様詳細

1 超音波診断装置本体

- 1-1 Bモード、カラードプラ、パワードプラ、パルスドプラ、Mモードの機能を有すること。
- 1-2 ワンボタンで表示画像を最適な状態にする自動調整機能を有すること。
- 1-3 持ち運ぶためのハンドル（取っ手）が操作パネル側（超音波診断装置本体前部）に取り付けられていること。
- 1-4 スタンバイ機能を有し、起動時間は15秒以内であること。
- 1-5 15インチ以上のIPS方式LCDモニタを有すること。
- 1-6 本体重量はバッテリーを搭載した状態で7.8kg以下であること。
- 1-7 バッテリーがフル充電の状態であれば、1時間以上の連続駆動が可能であること。また、超音波ビームを連続送信した状態で45分以上の連続駆動が可能であること。
- 1-8 診断装置稼働時の排気ファンの駆動音が50デシベル以下の騒音レベルであること。
- 1-9 操作パネルは、ボタンが5個以下、ボタン兼ダイヤルツマミが3個以下の合計8個以下のボタンでレイアウトされており、非常にシンプルな操作パネルであること。
- 1-10 操作パネル上に2つ以上のユーザカスタマイズボタンがあること。また、そのユーザカスタマイズボタンは、30以上の操作項目の中から選択して割付けができ、より操作性を良くすることが可能であること。
- 1-11 画像表示モニタ面には、日本語表記したタッチパネルボタンを有すること。
- 1-12 画像表示モニタの取り付け位置は、画像表示モニタ面がなるべく操作者に近くなるよう、超音波診断装置本体の中央部分よりも手前（操作パネル側）の位置に取り付けられていること。
- 1-13 画像表示モニタ面のタッチパネルのタッチキーは、任意にキーを配置して、よりユーザーに使いやすいようカスタマイズが可能であること。
- 1-14 画像の設定条件の変更や調整を、画像表示モニタ面のタッチパネルで行えること。
- 1-15 0~2cmの深度設定で画像表示モニタに画像を表示した際、本体画像表示モニタ画面上の表示幅が実測で22cm以上であること。
- 1-16 Bモード画像を上下分割2画面表示、または左右分割2画面表示ができること。
- 1-17 画像データ保存媒体は、振動や衝撃に弱いハードディスクではなくSSD（ソリッドステートドライブ）を内蔵していること。また物理容量は120GB以上を有すること。

- 1-18 保存画像データから、患者 ID、患者名などで過去の検査の画像データを検索できること。
また、保存されている同一患者の過去の検査画像をドラッグアンドドロップ形式で時系列に並べて、検査中の最新の画像と比較表示できること。
- 1-19 保存された画像データは、USB ポートまたは SD カードスロットから、汎用 PC で使用可能なデータ形式で出力が可能であること。また、出力時に患者情報を非表示にできること。
- 1-20 フリーズ後の画像および保存画像データにおいて、距離、角度、周囲長、面積の計測可能であること。
- 1-21 DICOM3.0 に準拠した外部接続機能を有していること。
- 1-22 画像表示モニタは、全面タッチパネルであること。また、操作パネルからだけでなく、画像表示モニタ画面をタッチ及びスライドさせて、表示画像の明るさや表示深度を変更できること。
- 1-23 画像表示モニタは、スムーズに検査が行えるようモニタ面を左右に回旋させ、見やすい角度に調整できること。
- 1-24 画像表示モニタは、スムーズに検査が行えるようモニタ面のチルト角を見やすい角度に調整できること。

2 超音波診断装置本体搭載用カート

- 2-1 超音波診断装置本体を載せるための専用台であること。
- 2-2 プローブを保持するためのホルダが 4 つ以上装備されていること。
- 2-3 験者が座位及び立位での使用時にも対応できるよう 280mm 以上の幅で診断装置の高さを調整できること。
- 2-4 白黒プリンタを搭載できること。
- 2-5 検査や処置に必要な物品を収納できるバスケットを装備していること。
- 2-6 軽快に移動できるように 5 つ以上の車輪を有すること。また、全ての車輪に固定用のストッパーが装備されていること。

3 表在用高周波リニアプローブ

- 3-1 電子リニア走査方式であること。
- 3-2 実効周波数帯域は 4~18MHz 以上広帯域であること。
- 3-3 オプションで穿刺アタッチメントの装着が可能であること。
- 3-4 有効視野幅が 38mm 以上であること。
- 3-5 診断画面上に穿刺ガイドラインを表示できること
- 3-6 平行法穿刺ガイドアタッチメントの取り付けが可能であること。

4 腹部用コンベックスプローブ

- 4-1 電子コンベックス走査方式であること。
- 4-2 実行周波数帯域は2 - 5 MHzの帯域であること。

5 白黒プリンタ

- 5-1 感熱プリント方式でグレー階調が256以上あること。
- 5-2 本体のプリントボタンで記録操作が可能であること。

6 保守体制

- 6-1 カスタマーコールセンターにて、24時間365日問い合わせに対応できる体制があること。
- 6-2 急な故障等に対応する為、県内にサービスステーションを有し、メンテナンス要員が常駐していること。
- 6-3 リモートメンテナンスの対応が可能であること。

7 その他

- 7-1 日本語の操作マニュアルを1部付属すること。
- 7-2 納入作業は病院指示に従い医療業務を考慮のうえ十分注意して行うこと。
- 7-3 器物の取扱いに注意し、事故又は過失等により損傷した場合はそれを補償すること。
- 7-4 物品設置の際に点検・調整及び試験運転を行い、担当者に十分説明の上、引き渡すこと。
その他不明な点は、当院担当者との協議の上、定めることとする